熊歯会報

Kumamoto Dental Association



CONTENTS

●巻頭言(理事 松本 信久)	3
●特集 熊本地震③	4
● 定時代議員会報告	9
● 理事会報告	14

● 郡市会報告	··· 16
(玉名郡市、荒尾市、人吉市、菊池郡市、	
上益城郡、山鹿市、天草郡市、熊本市)	
●会務報告 ·····	21

- 歯科医師の倫理綱領 -

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

- 一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。
- 一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者 のために社会的使命を果たすように努める。
- 一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

天草松島のパールサンビーチの写真です。 熊本市内から近くてお父さんに優しい海 水浴場です。

4月に自然の怖さを思い知らされました がやはり夏は海です!

子供たちにまじって自然と戯れるのもど うですか?

 $(Y \cdot T)$

一期一会ありけり



理事 松 本 信 久

私の開業している所は人口2,300人あまりの天草の中でも小さな町です。縁が有り、この町のあたたかな人々に助けられながら仕事をさせて頂き25年余りになりました。

振り返ってみると、この町での歯科治療の状況もずいぶん変化してきました。当初は3世代の家族が多く「みそっ歯」と呼ばれる子供たちが沢山いました。夏休みなどは忙しくむし歯の治療に追われていましたが、現在は子供の歯を大切にという親の意識が確立し、なんと齲蝕治癒率100パーセントという状況になっています。又、働き盛りだった方々が高齢となり、施設や自宅への往診治療でお会いする事が増えたと感じています。

「敬天愛人」自然の道理、人間としての正しい道を貫き、己の欲や私心を無くし人を思い やる「利他の心」を持って生きるべしと西郷隆盛が記しています。少しずつそうなりたいと 思いながら進んできました。

今自分が持っている力で誰かのお役に立つということは己の幸せにもつながります。先日 久しぶりに治療にみえた90歳の患者さんから治療のお礼として「一期あり一会ありける草の 花」と書かれた絵手紙をいただきました。そんな時、この仕事をしていて良かったと心から 思い、まだまだ日々精進せねばと気持ちを引き締めています。

4月に発生した熊本地震は県下いたるところで傷跡を残しました。この震災は健常な人は元より、障がいを持った方々には今まで経験をしたことが無い特別な出来事でありました。自閉症など発達障害を持つ子供やその家族の多くがトラブルを恐れて避難所に入れず車や自宅での生活を強いられていました。行列に長時間並べず食料や水の配給すら受けられない人や、『物資が欲しければ避難所に入ればいい』と門前払いされたケースも有ったと聞きました。トイレに行くという行為一つとっても決まった場所でないと排泄さえできない等、私たちが考えている以上に生活することが大変な方々がこの地震で行き場を無くされました。通常の生活の中でも誤解を受けやすく苦労されているのに、地震という非常時の中で本当に大変であったことは想像に余りあります。知っているつもりの事が、実は浅い知識や考え方であったと感じ心が痛みました。今後も日本のどこででも大きな災害が起こることが予測されます。今回私達が得た多くの教訓を他の地域の方々に伝えていく事が私達の役目です。歯科の分野での被災地支援の方法はどうだったのか、全体的な流れの中でネットワーク作りは妥当だったのか、弱者の方々への対応で何が良くて何が不足だったのか等評価・考察して次につなげる行動を起こし続けなければなりません。

一人一人が協力し合い熊本の復興に向けて頑張っていきましょう。がまだせ熊本!

作第 歐巡慶 南阿蘇村歯科支援活動報告 "承"

≪活動ポイント:ICF (国際生活機能分類)≫

災害支援活動を再定義すれば、 "災害時の 総合的生活機能支援活動"と言い換えること ができる。災害発生直後はICF(国際生活機 能分類)における生命レベルの生活機能が低 下した被災者に対する支援活動が行われ、D MATなどにより緊急性の健康危機状態にあ る患者への対応が優先される。歯科において も、まずは口腔顎顔面外傷への対応がなされ、 次に応急歯科治療、口腔ケア等が行われる。

このような、心身機能や身体構造に関する 生活機能低下に対する処置が一巡した後には、 生活レベルの機能低下に対する支援がメイン となる。つまり、災害前に出来ていた生活行 為(身の回りの行為、家事など)に関する生 活機能低下対策が大きな問題となってくる。 最終的には、これまでの生活や人生場面への 関わりが激変した仮設住宅入居者の地域社会 参加を促すといった、人生レベルの支援活動 も不可欠となってくる。

平時においては、生活機能低下というのはポ ツポツと現れるのに対して、災害時においては、 ありとあらゆる種類の生活機能低下・障害が 「まるでタケノコのように」そして「時間の 経過によって違った種類」がどんどん出てく る。また、明らかな機能低下が認められない 被災者でも、「普段自分で管理可能なものが 管理しにくくなっている」という意味で、被 災者全員がフレイル状態にあると言える。

そのような状況の中で、様々なフレイルと オーラルフレイルが多重的に発生することで 重大なトラブルにつながる危険性を視野に入 れながら、口腔アセスメントを実施する必要 がある。

< 九地連歯科支援チームの構成>

第2班:チームリーダー 和田孝介歯科医師 (大分県歯科医師会)

> 大分県歯科医師会・大分県歯科衛生 士会(5月1日~5月8日)

> 九州歯科大学(5月1日~5月8日)

<現地コーディネーターの任務>

①九地連歯科支援チームが南阿蘇村に入るま

でに、歯科支援チームが他の支援チームと 連携して活動するための環境を整えておく

- ・対策会議には立ち上げ当初から参加し、 歯科の存在をアピールする
- ・対策会議の全体的な流れを把握し、歯科 支援チームに伝達する
- ②「地元の歯科医師がどうような歯科支援を 受けたいかしを支援チームに明確に伝える
 - 「地元歯科医師が受け入れることのできる 歯科支援の形しを地元で協議・調整する
 - 「歯科支援活動の基本方針(九地連歯科 支援チーム 行動方針)」を作成する
- ③活動目標(アウトカム)を設定する
 - ・誤嚥性肺炎による災害関連死をゼロにす る
 - ・誤嚥性肺炎の発症率を地震発生前後で同 レベルにする

※上記の①~③については実施ずみ。

④県外チームによる歯科支援活動が円滑に行 えるよう、地元保健師や地元歯科医師、介 護施設等との調整を行う

県外チームが歯科支援活動を円滑に行うに は、避難所や介護施設、孤立した在宅要介 護者等の情報を事前に入手しておく必要があ る。そのため、村内の様々な情報に詳しい地 元保健師に「地元行政歯科コーディネーター」 として歯科支援活動に参画してもらうことは 有意義である。今回は、日頃より歯科保健に 携わっている島岡保健師に「地元行政歯科コー ディネーター」をお願いした。島岡保健師は 歯科支援チームの求めに応じて、朝と夕方の 歯科支援会議に出席し情報を提供した結果、 支援活動はより効率的になった。



地元保健師(右から3人目が島岡保健師)との情報共有

H.28.8

介護施設等で歯科支援活動を行う際には、 県外支援チームが施設内で行動することを施 設側に事前に承諾してもらうことも重要であ る。県外支援チームが直接施設に交渉しても 施設側は懐疑的になり、なかなかうまくいか ない。そこで施設の協力歯科医に相談して、 協力歯科医師から施設長に介入の趣旨説可を 行ってもらうと、その後の展開がスムーズに なる。介護施設での歯科支援活動のキーパソ ンは、日頃から介護施設との付き合いの深い 協力歯科医であった。

- ・地元保健師の中で歯科に詳しい保健師に「地 元行政歯科コーディネーター」を要請
- ・介護施設への介入を協力歯科医(地元歯科医 師が担当)から介護施設長に連絡、調整
- ・その他、必要な調整作業を随時実施

<ミッション>

第1班の支援活動の流れを継承するために 第2班に課せられたミッションは下記の2つ である。

- ①急性期から慢性期への活動
- ②多職種、地元との連携強化

<実際の活動>

第2班の活動時期は急性期から慢性期への 移行期であり、被災者の方々にできるだけストレスを与えないことと、誤嚥性肺炎のリスクが高まらないようにすることを念頭に活動を行った。その結果、歯科相談については全14例中11例がこの時期に集中した。



九地連チーム第2班の皆さん

第1班の重要な任務であった口腔アセスメントの残りを行い、レベル2アセスメントは1介護施設の5例、車中泊者50例を実施した。また、3避難所と9介護施設で55人に対してレベル3アセスメントを実施した。

地震発生直後に各避難所に配備した歯科関連物資の不足が生じてきたので、第1班では5か所であった物資及び環境整備を第2班では42か所で行った。



施設廻り、リスクチェック



物品チェック・補充

また、インフルエンザ及びノロウィルスの 封じ込めのために介入を見送っていた南阿蘇 中学校避難所についても口腔アセスメント、 歯科処置、口腔ケア、保健指導、物資環境整 備を開始した。

多職種連携については、第1班からの流れを受けて感染対策医師との意見交換や日赤チームとの連携、避難所集団指導にむけてのJRAT、DPAT、保健師、栄養士等との協議を重ねた。その結果、JRATが開始した集団リハビリ指導と連動する形で口腔機能支援チームによる口腔ケア指導を実施した。



感染対策担当医師と意見交換する和田チームリーダー(大分県歯科医師会)



日赤チームとの連携



JRAT、DPAT、保健師、栄養士等との避難所集団指導にむけての話し合い



JRATとの協議 中央は協議を主導する原歯科衛生士(大分県歯科衛生士会)



JRATの集団リハビリ指導と連動して口腔機能支援チームが口腔ケア指導を実施

先週毎日実施していた陽ノ丘荘への介入は、 今週は予定通り2日に1回のペースで行った。 また、陽ノ丘荘以外の口腔ケアについては、 第1班は高森町2施設、久木野地区1施設で 実施したが、第2班は高森町3施設、長陽地 区2施設、白水地区4施設、久木野地区3施 設と、急速に実施施設を拡大した。

福祉避難所に指定されている白水温泉瑠璃には精神発達遅滞のある方が避難しており、

はじめは両親から拒否されたが(以前医療機関で恐怖体験があり、医療自体を拒否していた)、口腔ケアを行った後は「やってもらえて良かった。口腔清掃不良で、震災前はシャワーで口の中を洗っていたのができなくなり、実は困っていた」という報告があった。

九地連チームとして派遣された歯科衛生士の口腔ケアスキルは非常に高く、この技術を 学ぶために地元歯科診療所に勤務する歯科衛 生士の見学が相次いだ。また、地元歯科医師 の要望で介護職員に対する実技研修も実施さ れ、口腔ケアの必要性についての認識が介護 施設間で高まってきた。



施設職員に対する研修を兼ねた口腔ケア終了後の写真 片山会員(高森町)も同席

このように、施設側の歯科支援受け入れ態 勢が整ってきたため、九歯大老年障害者歯科 学分野から派遣された歯科医師による嚥下評 価を介護施設で3例、避難所で1例行うこと ができた。

九地連チーム第2班による5月1日から5月8日までの歯科支援実績は、表1のとおりである。

表 1	日	月	火	水	木	金	土	日
活動内容	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日
アセスメント	8	0	1	7	28	12	57	5
歯科治療	1	2	1	2	2	0	0	0
歯科相談	0	11	0	7	0	0	0	0
口腔ケア	6	5	9	3	20	19	6	8
保健指導	0	3	0	0	26	7	1	6
嚥下評価	0	0	0	0	3	1	0	0
嚥下リハ	0	0	0	0	0	0	0	0
摂食指導	0	0	0	0	0	0	0	0
環境アセスメント	0	0	0	0	0	0	2	0
物資・環境整備	0	15	0	2	1	0	15	9
その他	0	1	0	4	0	0	2	0
地元医療資源へ	0	0	0	2	0	0	2	0
地元医療以外資源へ	0	0	0	0	1	1	1	0

当初「歯科支援チーム」として活動開始した九地連チームは、名実ともに、"災害時の総合的生活機能支援活動"の中の"口腔に関する生活機能支援活動"を一手に引き受ける専門集団として、他の支援チームから信頼されるようになった。 (田上 大輔)

熊本県歯科衛生士会活動記②

今回は、県歯科衛生士会の南阿蘇村と菊池 郡市での熊本地震災害支援活動を報告する。

【南阿蘇村】熊本地震が発生し各地で歯科災 害支援が行われる中、4月24日(日) 南阿蘇 に向かう霧のグリーンロードは災害支援の車 が行き来し、平時の風景とは違うものだった。 当会より地元の田上歯科医師に連絡し歯科衛 生士会も支援に参加したいと申し出、歯科支 援は九地連福岡チームの指示下で行うことで 承諾いただき現地に向かった。4月23日(土) 阿蘇支部会員に歯科衛生士会のコーディネー ターを依頼し、九地連福岡チームとの連絡、 情報収集をし、本会につなげてもらった。南 阿蘇村での歯科の災害支援は田上歯科医師を トップに、九地連より福岡県歯科医師会、福 岡県歯科衛生十会、福岡歯科大の役割分担が され、何を行うのかが理解できた。更に、田 上歯科医師と九地連の太田歯科医師から南阿 蘇村でのミッションについて話を受けたこと により支援の理解と行動が明確になった。活 動は太田歯科医師に同行し各避難所でのアセ スメント、口腔ケア、口腔衛生指導であった。 私たちが活動参加した時期は地元歯科医院の 診療も再開されており、避難生活は亜急性期 から慢性期に移行時期で、避難生活でのスト レスが発生してきており、充分注意するよう アドバイスを受けた。避難所は多くの方が所 狭しと暮らしていらっしゃったが整備されて おり、そこにはコミュニティーがあり、被災 の苦労の中避難所の日常があった。住民への 歯科支援はフェーズ2のアセスメントや他職 種からの情報からピンポイントで訪問し、応 急処置からかかりつけ歯科医への紹介や口腔 ケア等を行った。また、福岡県歯科衛生士会 チームが口腔ケアグッズを子ども用・成人用・ 義歯使用者用各セットを大量に作ってくださ り、歯科チームだけではなく他職種も自由に 使い訪問していた。活動から帰ってくるとそ のセットを利用した保健師、医師からいいも のを作ってくれてありがとうと感謝の言葉を 頂いた。

JMADミーティングへの参加で災害支援活

動がどのように行われるのか学ぶことができた。色々なボランティアが入り混じっている 災害現地で、九地連の福岡県チームリーダー の太田歯科医師の、活動の思いは間違ってい ないが、方法を間違ってはいけないという話 が印象に残った。

南阿蘇村の活動に入れて頂き多くの事を学んだ。また参加時、私たちには①災害支援状況の把握②他職種との協調活動③災害支援目的の貫徹が足りなかったことに気付き、その後の支援に役立て本会の活動は5月1日(日)まで行った。



南阿蘇村JMAD室入口に設置してある口腔ケアグッズの箱、 誰でも持ち出せるようになっている。いつもすぐ無くなる。

【菊池郡市】菊池管内も被害は大きく、まず 5月16日(土)に大津町、菊陽町で支援に参 加した。沖縄県歯科医師会、沖縄県歯科衛生 士会チームが支援に入られ、歯科衛生士会菊 池郡市支部が同行した。大津町にはJMADの 支援が行われていたが、菊陽町には医療支援 は入っていなかった。余震の中義歯を取りに 行った話や生活が落ち着いたら歯科医院に行 きますなどの話しが和やかに出てきた。歯科 支援は有志の歯科医師がすでに回っていると ころもあった。大津町の本田技研体育館には 南阿蘇村避難所が開設され、鹿児島大学歯学 部から歯科支援が行われていた。その他の避 難所へ同行、アセスメント、口腔ケア、歯科 保健指導を行った。菊陽町では話しかけると 溜まっていた不安を泣きながら訴える方がお られ、担当当番歯科衛生士は災害の大きさと 避難所格差を感じたと話していた。 6 月より 菊池郡市歯科医師会が大津町(本田技研体育 館を含む)、菊陽町、合志市、菊池市の管内

全域で歯科支援を開始し本会も参加した。復 旧時になり日中の避難者数は少なく、場合に よっては夕方からの巡回となった。あまり歯 科疾患の訴えはないものの訪問は歓迎された ように感じた。

福岡、沖縄チームより現地のスタッフがいると方言の聞き取りや道案内が大変助かったとの話を頂いた。

この災害で何か歯科衛生士として役に立ちたいと多くの歯科衛生士会会員から言葉が出た。口腔支援ボランティアをメール等で募ると70数名の会員が手を挙げ、その会員方が各地で活動した。災害関連誤嚥性肺炎の予防、口腔問題の解決の支援に携われたことは自分達自身が被災者であるものの歯科衛生士として会としても充実感を感じられるものであった。

復興を目指し今後も被災者の方々へ口腔の 健康を介して健康支援を継続していきたいと 思っている。

(県歯科衛生士会 坂本 由美)



口腔ケア、口腔衛生指導を行う



超音波を利用して





復旧・復興に向けて活動を

一 平成28年度 定時代議員会 —



6月25日(土) 午後3時より、県歯会館において、宮本議長・玉置副議長他48議員、浦田会長他全役員、伊藤学院長出席のもと開催された。

1. 開会:小島副会長

2. 議事録署名人指名:

林 昭宏 議員(熊本市) 田中 栄一 議員(宇土郡市)

3. 物故会員に対する黙祷:

宮島 清子 会員 (水俣・芦北郡市) 原田 栽志 会員 (八代)

4. 挨拶:浦田会長

本日は主に平成27年度会計決算を審議していただく代議員会であります。慎重審議をよろしくお願いします。

4月14日・16日に発生した熊本地震、先生 方もかなりの被害を受けられたのではないか と思います。あわせて、亡くなられた方々に 哀悼の意を表し、被災された皆様にお見舞い を申し上げます。

地震発生以来、本会は、前震の翌日から対応を協議して、様々な活動してきました。や

がて2ヶ月半が経過し、だいぶ落ち着いてきました。保健活動に関してはまだ続きますが、 今までのような活動は無いと思います。

今後は被災された会員の先生方のサポート を中心に本会としては活動していく事になる と思います。被災された会員の先生方の復旧・ 復興が、取りも直さず県民の歯科保健の充実、 健康保持・増進の糧となると言う事で、関係 各位に、復旧・復興をお願いしております。 今、まさに参議院選挙の時期ですが、選挙ど ころでは無いよと言う気持ちは先生方の中に もあると思います。十分に理解しております が、我々が持つその1票というものを、しっ かりと行使をして意思を示さないと、あらゆ る面で支援あるいは補助等もままなりません。 我々の力を見せてこそ、支援についても十二 分に発揮されるのではないかと思っておりま す。選挙に関しては連盟からお願いがあると 思います。先生方も、ご家族やスタッフも含 めて、ご協力をお願いしたいと思います。

昨日現在で1798回の震度1以上の地震が続いております。それにあわせてこの大雨という事で、さらに被害も拡大している部分があります。まだまだ長い復旧・復興の道のりではありますが、皆さんと力を合わせて、一歩一歩、復旧・復興に向けて活動していきます。今後とも息の長い活動になるので、どうか先生方のご支援・ご協力をお願いします。本日は最後までよろしくお願いします。

5. 報告:

- (1) 会務報告…渡辺専務理事
- (2) 日歯代議員会報告…小島日歯代議員
- (3) ケイ・デー・エム・ユー報告… 中嶋代表取締役

6. 議事:

第1号議案 平成27年度会計決算(案)の

承認を求める件

決算監査報告…久々山監事 公益目的支出計画実施報告書 に関する監査報告…西野監事

第2号議案 日本歯科医師会選挙人及び補 欠選挙人選出の承認を求める件

以上すべての議案は承認可決された。

7. 事前質問:

1. 事務局からの連絡(上益城郡・清村議員)



〔要旨〕 会員への情報提供時はF

AX送信だけでなく、メールでの連絡も併用してお願いしたい。

〔執行部回答〕

経費削減のために、毎月の定期発送回数 を2回から1回に減数したことに伴い、緊 急を要する重要な情報は、FAX送信で対応している。情報伝達方法はメールの方が有効だと思うが、現在アドレス登録している会員は6割程度で、全ての会員に一括に提供できる環境が整っていない。今後も会員へアドレスの提供を推奨していく予定であり、メールでの連絡も併用していきたい。

※関連質問(宇土郡市·森議員)



〔要旨〕

メールでの連絡の方がわかりやすいと思うので、各郡市専務理事等に一旦送信して、そこから会員へ送信することも1つの手段ではないか。

〔執行部回答〕

その方法もとってみたいと思う。

8. 協議:

1. 本会創立110周年記念行事 平成29年5月20日(土) ホテル日航熊 本において実施することとした。祝賀会 は会費制にすることも今後検討していく。

9. 閉会:中嶋副会長

(広報 岩崎 晃司、緒方 秀則)



第23回 日本歯科医学会総会

会 期 平成28年10月21日(金)~23日(日)

会 場 福岡国際会議場、福岡サンパレス

併催行事 第69回九州歯科医学大会、

日本デンタルショー2016 (会場:マリンメッセ福岡)

※必ず事前に参加登録を行ってください。受付期間は9月2日(金)までです。

第69回 九州歯科医学大会

日 時 平成28年10月22日(土) 午後2時~5時

会 場 福岡国際会議場

講 師 元日本歯科医師会会長 大久保 満男 氏

東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 辻 哲夫 氏

ジャズシンガー 綾戸 智恵 氏

(単位:円)

正味財産増減計算内訊表 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

			++40	# \= 1				作 中 号 号 名		言く一大	十四日日年十	!
勘定科目	学徳護海・研修事業	地域保健事業	表 海事 来 河町 東 本 河町 東 東 河町 東 村 東 村 中 の 音成 事業 対 会 的	実	社会保険関連事業	再样共用	が益事業(販売収入・保険手数対)	その他の事業福利国生事業	その他共通		内部取引消去 内部取引消失	仙
1 一般工程中在特別	+			No. A Service H. Const. Const.			A LOCAL PORT AND A STATE OF THE					
1 一版上述的任治成以即 1 条件语法已数												
(1) 然時7次												
	0	C	C	C	C	C	C	C	C	21 157	C	21 157
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21.157	0	21.157
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	450,000	0	450,000
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	450,000	0	450,000
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120,978,692	0	120,978,692
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120,978,692	0	120,978,692
事業収益	0	0	99,833,000	18,744,554	0	0	23,218,442	41,835,000	0	0	0	183,630,996
学生生徒納付金収益	0	0	98,500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	98,500,000
医業収益	0	0	0	18,744,554	0	0	0	0	0	0	0	18,744,554
手数料収益	0	0	1,333,000	0	0	0	16,748,679	0	0	0	0	18,081,679
事業収益	0	0	0	0	0	0	6,469,763	41,835,000	0	0	0	48,304,763
受取補助金等	350,000	11,863,418	2,150,093	27,244,079	0	0	4,031,880	5,100,000	0	2,922,200	0	53,661,670
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	4,031,880	0	0	0	0	4,031,880
受取県市補助領	0	11,533,418	1,600,093	27,244,079	0	0	0	0	0	0	0	40,377,590
その他の補助領収益	350,000	330,000	550,000	0 (0 (0 (0 (5,100,000	0 (2,922,200	0 (9,252,200
受取負担金	291,000	210,000	0 0	0 (0	0	0 (56,000	0 (547,000	0 (1,104,000
安取買担金	291,000	210,000	0 10 001	0 0	0 (0	0 !	26,000	0 0	547,000	0 00	1,104,000
羅拟猫	465,000	627,331	4,706,271	307,179	0 0	0 0	134,415	92,780	0 0	1,984,924	000,009—	7,717,900
文 東 東 東 東 東 東 東 東 東	0 00	28,535	52,138	016	0 (0	5,3//	92,780	0 (183,705	0 (363,445
以 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位	400,000	200,000	0 0	0 0		0 0	0 0	0 0	0 0	940,000	0 00	1,840,000
农市农品作权制格员本	0 00	902.00	0 0 0 0 0	0 20 200			120 020		> C	961,000	000,000	0 6 61 4 46 6
新校街 (4) 今里かい 6 緒 7 5 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	000,00	1 000 000	4,654,133	306,269			129,038	> 0	0 0	1 000 000	0	5,514,455
おお目/プ20/ 探入女用 (名) 4 4 4 5 5 6 6 7 8	0 0	1,899,000		2,916,780				0 0	00	1,000,000	-5,615,780	
同対ログランボン政	1 100 000	1,039,000	106 660 361	40.242.500			TOT 800 TO	097 690 71		000,000,	0,013,700	267 564 415
解説状油町 の 数や専田	1,106,000	14,533,743	100,689,364	49,212,592	0	0	27,384,737	47,083,780	0	127,903,973	-6,415,78U	367,364,413
	18.820.470	48.308.119	94.865.374	44.372.004	C	0	28.529.129	50.168.441	С	C	000.000	284.463.537
1 公昌 報 國	2 034 000	3 607 200	1 920 000	558 000	o c		1 674 000	370,800	o c	0 0	000,000	10 164 000
然以以外	6 327 853	8,667,358	45 751 785	19 566 137			8 073 708	080,0%	0 0	0 0	0 0	89 052 931
路中屋舗金	0,720,0	000,	46.300	(2)	o C	0 0	6.540	00000	0 0	0 0	o C	52,840
100mm(1) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	982 692	972 248	1 500 170	306 528	o c		739 686	81 025	o c	0 0	0 0	4 369 443
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	000	0,2,20	2,477,333	278 987			248 000	0,10	o c	0 0	0 0	3.004.320
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	o c	0 0	5 316 862	641 391	o c		534 645	0 0	o c	0 0	0 0	6,492,898
海利原生費	1.468.964	1.855.536	878.153	495.023	0	0	1.232.165	5.693.020	0	0	0	11.622.861
教育書	0	0	15.969.628	0	0	0	0	0	0	0	0	15,969,628
広告宣伝費	99,360	3,504,600	183,600	950,000	0	0	120,000	0	0	0	0	4,857,560
会議費	2,862,504	5,019,128	2,853,032	1,211,596	0	0	1,935,222	52,900	0	0	0	13,934,382
診療原価費	0	0	0	2,319,879	0	0	0	0	0	0	0	2,319,879
研修費	1,876,601	1,515,067	610,185	2,492,925	0	0	0	0	0	0	0	6,494,778
所對交通對	3,196,909	3,823,862	2,367,110	2,214,191	0 0	0	388, 738	198,214	0 (0 (0 (12,189,024
通信建筑的	24,076	1,167,236	1,569,912	414,932	0 (0	762,832	16,922	0 0	0 (0 0	3,955,910
淡作中电	11 664	1 475 507	2,494,371	1,803,582			1,055,8/9	000000	> C	0	0 0	10,953,832
/HYDHD気 (を維費	100,	(60,0/+,-	0,024,420,0	55,000	o c		45 522	000000000000000000000000000000000000000	0 0	0 0	0 0	10,340,6/7
50000000000000000000000000000000000000	138.240	7.362.279	1.457.319	313.293	0	0	5.112.480	o 0	0	0	0	14.383.611
光熱大量	0	0	0	1.392,152	0	0	795,369	0	0	0	0	2.187.521
賃借料	90,375	29,000	000'009	0	0	0	179,307	0	0	0	000'009—	328,682
保険料	0	2,000	1,000	63,210	0	0	10,500	5,404,872	0	0	0	5,484,582
諸謝金	0	44,548	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,548
租税公課	0	0	0	0	0	0	3,531,465	0	0	0	0	3,531,465
支払負担金	352,000	614,200	1,846,095	38,000	0	0	475,800	35,075,000	0	0	0	38,401,095
支払助成金	0 (8,620,000	0 (0	0	0 (0	510,000	0 (0 (0 (9,130,000
	0 000	413,384	0 0	995,913	0 0	0 0	817,962	0	0 0	0 (0 0	2,227,259
冰水 加	000,811	202,604	0000	0 0 00		0 0	230,000	439,020	0 0	0 0	0 0	989,624
雅 <u>河</u> 厄共乌甘公	0 - 549 812	36,125	398,113	294,943			97,114	1,385,700	000	0 0		7,17,1,995
火軍気圧の	710,63,015	000,000	>	V000,03	>	>	>	100,00	2	>	>	1,430,060

正味財産増減計算内訳表 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

Ä			実施事業会	業 条 計				その他の事業		法人会計	内部取引消去	
剧定外目	学術講演・研修事業	地域保健事業	歯科衛生士の育成事業	的弱者支援事業 社	会保険関連事業	実施共通	収益事業(販売収入・保険手数料)	福利厚生事業	その他共通	法人会計	内部取引消去	tia (a
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,674,530	0	73,674,530
公司站職		0	-		C	-	0	0	0	2 916 000	0	2 916 000
\$ 文 \$ 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	> 0	0 0	> 0	> 0	O	> 0	> 0	> 0	> 0	2,310,000	0 0	2,310,000
日十十二 一十十二 一十十二 一十十二 一十十二 一十十二 一十十二 一十十二	O 1	o ') i	O T	0 1	D	O 1	O 1	0 1	0,009,290	0 1	10,659,23
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,280,436	0	2,280,436
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,262,614	0	2,262,614
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,600	0	43,600
は割同仕事										2 705 993		2 705 993
五二十二 八十八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	· ·	o c	· ·	o c	o c	- c	o c	· ·	o c	103 200	o c	103 200
以古里江河	0	o '	0	0	0	> '	O 1	0 '	0	103,200	0	103,20
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,919,713	0	5,919,713
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,348,740	0	6,348,740
通信運搬費	0	0	С	С	C	С	0	0	C	3.024.306	С	3.024.306
沙角衛生命	· c						· C			16 284 839		16 284 839
	o (> 0	o (» (> 0	o (» (» (> 0	0,00,000	» (0,504,0
油耗品質	0 (0	0 (0 (0	0 (0 (0 (0	2,088,246	0 (2,088,246
修 插 算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	303,480	0	303,480
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,553,793	0	1,553,79
光熱大費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,715,119	0	1,715,119
(年本光)										1 503 852		1 503 852
阿斯拉	0 0	0 0	0 0	> 0	0 0	0 0	0 0	0 0	> 0	1,393,632	0 0	0,000,0
相枕公課 十二七二章	0	o '	0 1	o '	0 1	0 1	0 '	0 '	0 '	001,680,6	0 1	0,035,100
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	682,000	0	682,000
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000	0	250.000
歩 計學	0	0	C	C	C	0	C	C	C	4 449 971	C	4 449 97
大記り	0 0		0 0	.	0 0	0 0	0 0		0 0	1,000 200	0 0	,,,,,,,
沙外河	0 1	o '	0 1	0 '	0 1	0 '	0 '	0 '	0 1	6,269,738	0 1	6,269,730
羅河	0	0	0	0	0	0	0	0	0	388,331	0	388,331
収益負担分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-4,463,836	0	-4,463,836
他会計への繰出額	0	0	0	0	0	0	0	1.000.000	0	4.815.780	-5.815.780	
金の計への御田鰡	· c		C		C	-		1 000 000		4 815 780	-5815780	
公子 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	18 820 470	AR 308 119	04 865 374	AA 372 00A	0 0	0 0	28 529 129	51 168 441	0 0	78 490 310	-6.415.780	358 138 OK7
光 四 報 二 和 2 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年	000, 410,010	01-1000-100	1000,000	4 040 100			4 4 4 9 000	4 004 001		40,440,000	6	000,000,000
计回复计可能引出规程形 追戏铁器 计通线数器 计压力分析	0/4,4/0	ો		4,040,300			ဂို	14,004,001		49,413,003		9,470,3
計価損金等計	0	0		D	Э	0		ı	Э	ı	0	ı
当期経常増減額	-17,714,470	-33,708,370	11,823,990	4,840,588	0	0	-1,144,392	-4,084,661	0	49,413,663	0	9,426,348
経常外増減の部												
経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用												
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	
固定資産除却捐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	
経堂外費用計	C	C	C	0	C	C	C	C	C	_	C	
当期経堂外增 遗籍	0	C	C	0	C	C	C	0	C	Ī	C	
超引前 出 一	-17 714 470	-33 708 370	11 823 990	A 840 588	0	0	-1 144 392	4 084 661	0	49 413 662		0 A26 3A
以111111111111111111111111111111111111	-17 714 470	-33 708 370		4 840 588	0	0 0	-1 144 392	-4 084 661	0	49 413 662	0	9.426.347
当物 胶止你没连组购职 机二酰甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	0/4,417,71	01,000,070	00,000,000	4,040,000			14,352	124 009,001		1 505 504 311	, .	1 70 050 005 1
一板止床的连朔自然高端工作时 克胡士塔二	-50,262,663	-81,533,332 -41,641,500	92,260,955	28,382,106			14,304,498	134,868,067		1,585,594,311	0 0	1,724,279,94
一般止味財库期未残局	-6/,9//,133	-115,241,702	104,090,945	33,822,694	О	0	13,220,106	130,783,406	0	1,635,007,973	0	1,/33,/06,289
指定正味財産増減の部												
期指定止味財産増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
正味財産期末残高	-67.977.133	-115.241.702	104.090.945	33.822.964	0	0	13.220.106	130.783.406	0	1.635.007.973	0	1,733,706,289
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		2									J

貸借対照表 平成28年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	コ 牛 皮	BIJ 十 /支	→日 <i>间</i> 队
1 流動資産			
現金預金	274,867,546	241,103,363	33,764,183
現金	16,140	14,420	1,720
普通預金	214,851,406	181,088,943	33,762,463
肥後銀行(メイン)	8,393,698	5,156,692	3,237,006
肥後銀行(共済)	72,257,161	68,444,403	3,812,758
肥後銀行(学院)	79,429,790	56,166,698	23,263,092
肥後銀行(センター)	1,801,511	731,262	1,070,249
肥後銀行(労保)	4,825,110	4,439,451	385,659
肥後銀行(産業歯科)	3,239,746	3,010,552	229,194
肥後銀行(健康週間)	76,048	13,697	62,351
肥後銀行(販売・手数料)	8,112,822	6,241,080	1,871,742
肥後銀行(資金調整基金)	11,322,232	11,322,232	70 501
肥後銀行(健康文化賞) 肥後銀行(運営基金)	116,063 9,200,000	39,482 9,200,000	76,581 0
肥後銀行(運用基金)	4,546,902	4,546,126	776
肥後銀行(日歯諸会費)	10,860,000	11,169,000	-309,000
肥後銀行(九地連)	350,400	286,400	64,000
みずほ銀行	209,224	210,592	-1,368
商工中金	107,610	108,744	-1,134
熊本第一信用金庫	3,089	2,532	557
定期預金	60,000,000	60,000,000	0
熊本第一信用金庫(資金調整基金)	60,000,000	60,000,000	0
未収金	42,805,086	43,256,994	-451,908
前払金	4,772,724	4,829,680	-56,956
商品	1,051,321	2,324,734	-1,273,413
流動資産合計	323,496,677	291,514,771	31,981,906
2 固定資産			
(1) 基本財産 土地(一般)	614,400,710	614,400,710	0
土地1 (一般)	30,050,000	30,050,000	0
土地2 (一般)	29,080,000	29,080,000	0
土地3 (一般)	142,713,032	142,713,032	0
土地 4 (一般)	42,560,428	42,560,428	0
土地5 (一般)	369,997,250	369,997,250	0
基本財産合計	614,400,710	614,400,710	0
(2) 特定資産		04 704 000	4 000 000
共済互助基金 定期預金	82,724,833	81,724,833	1,000,000
熊本第一信用金庫 肥後銀行	72,724,833	72,724,833	0 1,000,000
入会金積立金 定期預金	10,000,000 91,755,062	9,000,000 91,755,062	1,000,000
N	91,755,062	91,755,062	0
基本財産積立金 定期預金	124,997,638	124,997,420	218
法人(肥後)	88,497,534	88,497,534	0
学院(肥後)	35,474,527	35,474,527	0
センター(肥後)	12,908	12,905	3
労保 (肥後)	1,012,669	1,012,454	215
償却資産積立金 定期預金	51,966,832	50,966,446	1,000,386
熊本第一信用金庫	36,625,445	35,625,445	1,000,000
学院 (肥後)	13,401,777	13,401,777	0
センター(肥後)	1,939,610	1,939,224	386
役員退職積立金 定期預金	710,251	1,812,803	-1,102,552
法人(肥後)	598,030	1,590,613	-992,583
学院(肥後)	112,221	222,190	-109,969
退職死亡給付金積立金 定期預金	61,282,280	58,264,253	3,018,027
法人(肥後) 学院(肥後)	27,376,636 30,476,422	26,002,397 28,833,357	1,374,239 1,643,065
センター(肥後)	942,258	942,063	1,643,065
労保(肥後)	2,486,964	2,486,436	528
くまもと歯の健康文化賞 定期預金	15,000,000	15,000,000	0
熊本第一信用金庫	15,000,000	15,000,000	0
特定資産合計	428,436,896	424,520,817	3,916,079
(3) その他固定資産			
建物	408,312,247	419,277,321	-10,965,074
建物・本館	100,340,000	102,495,275	-2,155,275 -6,054,354
建物・分館 建物・分館増設	230,793,233	237,747,587	-6,954,354 -1,855,445
建物 * 分郎瑁設 建物附属施設	77,179,014 42,293,343	79,034,459 47,775,095	-1,855,445 -5,481,752
建物附属施設・本館 建物附属施設・本館	42,293,343 25,185,793	28,977,574	-5,481,752 -3,791,781
建物附属施設・分館	14,884,497	16,138,623	-1,254,126
建物附属施設・分館増設	2,223,053	2,658,898	-435,845
器具・備品	50,547,197	43,567,292	6,979,905
器具備品・本会	34,613,758	23,644,594	10,969,164
器具備品・学院	4,683,780	5,241,465	-557,685
器具備品・センター	11,249,659	14,681,233	-3,431,574
出資金	3,010,000	3,010,000	0
電話加入権	539,424	539,424	0
貸付金	5,200,000	5,500,000	-300,000 -0.766,021
その他固定資産合計	509,902,211	519,669,132	-9,766,921
固定資産合計	1,552,739,817	1,558,590,659	-5,850,842
資産の部合計	1,876,236,494	1,850,105,430	26,131,064

				(単位・口/
	科目	当年度	前年度	増 減
Π	負債の部			
1	流動負債			
	未払金	10,038,020	8,556,417	1,481,603
	未払消費税等	1,814,600	694,200	1,120,400
	未払法人税等	123,000	520,700	-397,700
	前受金	48,600,000	38,000,000	10,600,000
	授業料前受金	31,500,000	20,000,000	11,500,000
	入学金前受金	17,100,000	18,000,000	-900,000
	預り金	12,123,844	12,911,684	-787,840
	所得税	718,386	708,986	9,400
	日歯会費	38,000	57,000	-19,000
	日歯年金	4,430,000	4,720,000	-290,000
	日歯福祉共済	6,392,000	6,392,000	0
	火災共済	85,558	487,760	-402,202
	九地連会費	350,400	286,400	64,000
	諸口	109,500	259,538	-150,038
	賞与引当金	5,266,934	5,418,559	-151,625
	賞与引当金)法人)	2,262,614	2,258,173	4,441
	賞与引当金(学院)	2,477,333	2,638,867	-161,534
	賞与引当金(センター)	278,987	276,053	2,934
	賞与引当金(労保)	248,000	245,466	2,534
	流動負債合計	77,966,398	66,101,560	11,864,838
2				
	退職給付引当金	64,563,807	59,723,928	4,839,879
	退職給付引当金(法人・役員)		1,391,250	-727,500
	退職給付引当金(法人・職員)	., ,	25,661,297	4,051,243
	退職給付引当金(学院・役員)	1	164,998	-59,999
	退職給付引当金(学院・職員)		29,200,257	1,340,169
	退職給付引当金(センター)	753,222	649,256	103,966
	退職給付引当金(労保)	2,788,870	2,656,870	132,000
	固定負債合計	64,563,807	59,723,928	4,839,879
	負債の部合計	142,530,205	125,825,488	16,704,717
Ш	正味財産の部			
1	1472-117012			
2	- 17/17/2	1,733,706,289	1,724,279,942	9,426,347
	正味財産の部合計	1,733,706,289	1,724,279,942	9,426,347
	負債及び正味財産合計	1,876,236,494	1,850,105,430	26,131,064



被災された会員のサポートに尽力する

一第14回理事会一



6月7日(火)午後7時より県歯会館において、浦田会長他全役員、伊藤学院長、宮本代議員会議長と玉置代議員会副議長の出席のもと開催された。

開会:中嶋副会長
挨拶:浦田会長

本日は6月25日の定時代議員会に向けて、 27年度決算や議案の慎重審議をよろしくお願 いいたします。

地震の方も落ち着いてきましたが、先ほども余震がありましたように、まだまだ完全に収束したとは言えない状況です。役員の皆さんは、ご自身の診療所や自宅の被災に加え、本会会務運営といろいろ大変でしょうが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。避難所等の歯科保健活動は収束しつつあり、これからは被災された会員をどうサポートしていくかを中心に力を入れていきたいと思います。本日も理事会終了後に、地震災害対策本部会議を開催いたしますので、あわせてスムーズな進行にご協力よろしくお願いいたします。

3. 議長選出:浦田会長

4. 議事録署名人: 久々山監事、西野監事、 浦田会長

5. 平成27年度会務報告:

(自:5月23日~至:6月2日)

本会総務:理事会、常務理事会、地震災害対

策本部会議、都道府県会長会議、

日歯予算決算特別委員会

学 術:日歯学術委員会 社会保険:会員向け発行物

広 報:NHKテレメッセ 学校歯科:熊本市教育委員会訪問

医療対策:医療相談苦情事例報告 センター・介護:障がい者歯科診療

厚生・医療管理:日本歯科医療管理学会九州

支部総会・学術大会準備委員会 総務・医療連携:医科歯科医療連携事業講演会 以上、各担当役員より報告がなされた。

6. 報告事項:

1. 日歯報告

歯科概算医療費の推移、義歯の刻印の 取り扱い(混合診療にはあたらないとの 見解)、がん連携登録医ステッカー等に ついて報告がなされた。

2. 九州厚生局による処分

5月19日付で診療報酬の不当・不正請 求により、医科と歯科計2件について保 険医療機関指定取消処分及び保険医登録 取消処分が行われた。 3. 日歯福祉共済保険及び日歯年金保険の 各種特別措置

日歯理事会において、熊本地震による 被災会員が火災・災害共済保険金申請時 の罹災証明書や終身年金・中途脱退一時 金申請時の住民票・印鑑登録証明書の提 出が不可能な場合の各種特別措置が決定 し、都道府県歯会に通知された。

- 4. 第4種会員の代表歯科医の変更 仁誠会クリニックながみね(熊本市) より、代表歯科医の変更届が提出された。
- 5. 会計5月末現況

7. 連絡事項:

1. 7月行事予定

8. 承認事項:

- 1. 関係機関・団体からの役員等の推薦依頼「承認」
 - ・県がん診療連携協議会相談支援情報連 絡部会委員/熊本大学医学部附属病院 牛島 隆 常務理事 任期:平成28年 4月1日~平成29年3月31日
 - · 県学校保健会理事/県学校保健会 浦田 健二 会長、宮坂 圭太 副会長、 大林 裕明 理事 任期:平成28年6月17日~平成30年6

任期:平成28年6月17日~平成30年6 月定時評議員会終結時

·県学校保健会評議員/県学校保健会 河原 正明 委員長 任期:平成28年 6月17日~平成30年6月定時評議員会 終結時

9. 議題:

1. 熊本地震による会員の会費・共済互助 負担金の免除「承認」

基大な被害を受けたと判断される会員 の選定及び免除期間について原案どおり 承認した。また、対象会員の診療所の復 旧状況によっては免除期間の延長が出来 ることとした。さらに、新たに対象とな る会員が判明した場合は、その都度対応 することとした。

2. 平成27年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算(案)

原案どおり承認した。

3. 定時代議員会の運営並びに日程資料 [承認]

原案どおり承認した。なお、日程資料 については、6月9日(木) に代議員へ 送付する。

- 10. 協議事項:
- 11. 監事講評:
- 12. 閉会: 宮坂副会長

(広報 竹下 憲治)

会報をもっと気軽に読んでいただけるよう、会員のための投稿コーナーのページを設けることとなりました。趣味はもちろん社会に対して思うこと、娯楽的な映画・本の紹介、紀行、何でも結構です。どしどしご投稿ください。ただし、本会に対するご意見やご要望などは、対外的な広報誌であることから掲載の対象とはいたしません。ご了承ください。ご意見やご要望は、「会長への手紙」にお願いいたします。

また、投稿の内容により掲載できない場合もありますことをご理解ください。

(広報委員会)

郡市会報告

玉名郡市歯科医師会

今後の広報活動が課題

- よい歯の広場 -

6月4日(土) 午前10時より、毎年恒例の「よい歯の広場」が玉名市保健センターにて開催された。当日はあいにくの雨天にもかかわらず来場者数は214名とほぼ例年どおりであった。今年は去年と同じく、歯科医師による歯科健診・相談コーナー、歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素塗布コーナー、九州看護福祉大学(口腔保健学科)による位相差顕微鏡コーナーをでいた。 ・食育コーナー、フッ化物洗口DVDを観ながら楽しく学べるフッ化物洗口体験コーナー、子ども達に人気のくじ引きコーナーを設けた。

去年から導入された九州看護福祉大学による位相差顕微鏡コーナーが来場者入口近くに設置され、自分の口の中の細菌が生きて動いている大態でみることができてインパクトがあり、大変好評であった。来場者は小さな子供連れの家族が多く、歯科衛生士による親子そろって仕上げ磨きの指導が行われていた。フッ化物洗口体験コーナーでは、おなじみ蒲島県知事やくまて、常出演の啓蒙用DVDをみながら楽しくフッ化物洗口体験をしてもらえた。去年から小、中学校でフッ化物洗口事業が始まり、玉名地域の方々



楽しみながら親子で歯磨き

にも確実に浸透してきているのを感じた。

今年の目玉は玉名市のゆるキャラ「タマにゃん」の登場だ。タマにゃんが会場に登場するたび子ども達から歓声があがり、会場をとても和やかな雰囲気にしてくれた。今年度はポスター告知などもなく広報活動が十分とはいえない中での開催であったが、予想以上に盛況であった。今後は来場者のさらなる掘り起こしのため、広報活動の強化が必要であると感じた。

(月精 秀和)

幸福感が得られるような治療を目指して

一学術講演会 —

6月18日(土) 玉名市文化センターにて午後4時より学術講演会が行われた。講師に荒尾市歯科医師会の藤本会員をお招きして「治療を始める前に診断していますか?〜楽しく歯科をして次世代につなげるために〜」という演題で講演を頂いた。



藤本講師の話を真剣に聞く

をたくさん見せて頂いた。不況にあえぐ歯科界にとって、藤本講師のようなプロの仕事をすることで、社会的にも経済的にも潤った生活を我々は目指していきたい。講演終了後は場所を「國龍」に移し、診療における様々な事を語り合い勉強になる懇親会であった。

(永廣 有伸)

荒尾市歯科医師会

新たな助っ人参上!

- 第13回健康福祉まつり -

6月5日(日)午前9時30分より荒尾市文化センターにおいて第13回健康福祉まつりが開催された。

本イベントは地域保健医療福祉推進協議会主催で市内の様々な医療・福祉関連団体の協賛を得て一般の方々を対象とした健康増進ための啓蒙イベントとして始まり、現在では荒尾市民はもとより近隣住民にも知れ渡るほどのものとなったものの、今年は熊本地震から2ヶ月弱ではあったが通常通りの開催となった。

本会は歯科衛生士会と共同ブースで健診、位相 差顕微鏡を用いての歯と歯茎の健康相談、ブラッ シング指導、フッ化物塗布、福引き、歯科治療 パネル展示、デンタルケアグッズ展示&配布、 お口に関するアンケート&懸賞といった企画を 行っている。

今年も乳幼児をつれたご家族連れからご高齢 の方まで昨年を上回る442名の参加者があった が、九州看護福祉大学口腔保健学科の学生さん



昨年を上回る442名の参加者

の手伝いもあって例年以上に午後3時までスムー ズにかつ活気のあるブース内の様子であった。

今回、参加役員、参加医院の数を調整し、新たに九看大の支援が得られたことは来年以降の本イベントの運営の効率化をはかる上で有効な手段となりそうである。

(坂田 輝之)

人吉市歯科医師会

歯の健康の大切さを呼びかける

一健診事業 —

6月5日(日)午後1時30分から人吉市の近郊にある球磨郡錦町のイオン錦店おいて歯の健診、相談が行われた。去年までは、開催場所を人吉市内のショッピングセンターにて行っていたが、球磨郡のご理解の下、もっと多くの市民の方々に歯科口腔衛生の啓蒙をすべく今回の開催場所変更となった。このたびの事業は、人吉球磨歯科育委員会や歯ッピーネット(人吉球磨歯科衛生士会と熊本県歯科用品組合が協賛して行われた。内容は、歯の健診・相談、子供のフッ素塗布、70歳以上の方で20本以上の歯をお持ちの方の表彰及び嚥下力の検査など幅広い世代に歯の健康の大切さを呼びかけた内容であった。

当日は天候にも恵まれ、来場者への広報に心配はあったが、近年では最多の来場者123名の参加があった。フッ素塗布には68名、7020良い歯の表彰者は16名の対象者であった。嚥下



近年では最多の来場者

力検査では加齢とともに低下しがちな飲み込む 力を知り、歯と口腔の健康づくりに理解を深め ていただいた。事業担当者や業者の方々の準備 のおかげで盛況のうちに事業を終えることがで きた。

(御手洗 肇)

菊池郡市歯科医師会

熊本地震に負けず開催

─ 歯とお口の健康展 ─

6月5日(日) 午前10時より第30回『歯とお口の健康展』が菊池郡市歯会館にて開催された。今年は4月14日からの一連の熊本地震の影響で準備は困難を極め、一時開催が危ぶまれたが、県歯科衛生士会菊池支部、県歯科技工士会、県栄養士会菊池支部の共催のもと、多くの方々に支えられ、無事開催することができた。

会員による歯科健診、位相差顕微鏡を使った 口腔内観察、歯科衛生士会によるブラッシング 指導、栄養士会によるSATシステムを用いた 栄養相談等、来場者を大いに満足させるイベン



家族連れでにぎあう



スーパー大道芸人KAJI氏によるパワフルなパフォーマンス

トになったのではないだろうか。また屋外ではスーパー大道芸人KAJI氏によるパワフルなパフォーマンスも行われ、家族連れの笑い声が印象的だった。

来場者数は例年よりわずかに減少したが、地震で大きな被害を受けた西原村から7名来場され、改めてこの時期に開催できた意義を痛感させられた。今後とも地域住民のお口の健康増進に努めたいと思う。

(塘 英亮)

総会の全員出席を目指す

-- 総会 --

6月18日(土) 午後4時より、菊池国際ホテル笹乃家にて、総会が催された。

髙木副会長の開会の辞、宮川会長より挨拶があった後、議長に山口会員・副議長に高田周二会員を選出し総会は開始した。

城専務理事より会務報告、明受副会長より熊本地震関連報告の後、各理事より担当委員会報告があった。議事では、第一号議案 歳入歳出決算案の説明が田中常務理事より行われ、中村・北川監事より適正に運営している旨会計監査報告があり、満場一致で承認された。

協議では宮川会長・山口会員より会館負担金について、髙木副会長より歯科衛生士会との口腔ケア連携事業について説明があり、宮川会長より健康展の開催時期について問題提起があった。その後明受副会長より、閉会の辞があり総会は終了した。

総会終了後、田中県歯理事をお迎えし、社保



金田会員の還暦のお祝い

研修会・点数改定の説明が行われた。

その後の懇親会では、金田会員が還暦を迎え お祝いがあった。

今回総会の参加人数は36名であり、3月例会の44名を上回ることはできなかったが、全員出席を目指し頑張っている。

(渡邊 敬之)

上益城郡歯科医師会

歯科ボランティア活動のあり方について議論

通常総会

6月11日(土) 午後5時より今年は震災の影響により、熊本市の「仲むら」において通常総会が24名の参加で行われた。

清村副会長の開会の辞の後、江藤会員の議長 選出が行われ、総会がスタートした。玉置会長 から挨拶があり、新入会員の高尾会員の紹介、 会務報告、各委員会報告が行われた。月例研修 会を行っていた御船カルチャーセンターの使用 ができないということで、会場を歯科医師会館 を中心に検討することになった。

議事に移り、会計報告・監査報告、平成28年 度事業計画、予算案が会員に承認された。

上益城郡歯科医師会の主要イベントである従業員レクレーション、笑顔ヘルCキャンペーンについても議論が行われ、レクレーションにおいては開催が可能である場所の選定を行うこと、笑顔ヘルCキャンペーンは会場のイオンモール熊本の復旧状況を見極めながら行うかどうかを決定することとなった。

震災時における歯科ボランティア活動のあり



震災の影響により熊本市内で開催

かたについての議論を行い、総会は終了した。 引き続き懇親会へと移行し、会席料理、美味 しいお酒を堪能した。

その後、二次会へ移動しさらに懇親を深める ことができた。

地震、豪雨と続く天災。これ以上の被害が出ないことを祈るばかりだ。

(宮本 徳郎)

山鹿市歯科医師会

患者の為になる診療を

— 社保講演会 —

6月18日(土) 山鹿市歯会事務所にて、社保の講習会が行われた。講師は中嶋県歯副会長で、 点数改定後に社保の講演をして頂く事が、山鹿 市歯科医師会の恒例行事となっている。

内容は4月に行われた点数改定で、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所、SPT(I)とSPT(I)、訪問口腔リハビリテーションを中心に講演頂いた。

今回の歯科の点数改定は+0.61%であるが、歯管の文書提供加算の10点がほぼ0.6%にあたるので、文書提供したほうがいい事、また、か強診のエナメル質初期う蝕管理加算とF局の違いの説明、高血圧症等の疾患がある患者に対してモニタリングをして処置を行う医管(II)、お薬手帳を持参の患者に対して、手帳記載加算も歯科で算定している診療所が少ないが、事前に作製して、これらも患者の為にしたほうがいいとの事だった。他にも義歯の増歯修理についてや、義歯の名前入れについて解説頂いた。SPT(II)は(I)に対してかなり患者の窓口負担が高い為、患者に違いがわかる説明や処置が必要になる等、多



今回の改定は少子高齢化社会に対応した内容であった。

岐に渡って解説頂いた。

講演終了後は「よこて」にて懇親会が行われた。今回の点数改定は、か強診や在宅歯科医療等、少子高齢化社会に対して重点がおかれたものであったと思う。治療環境を整備して、中嶋副会長が繰り返し言われた、患者の為になる事を心がけて診療を行おうと思った。

(小林 聡)

天草郡市歯科医師会

軟質リライン材の臨床

— 学術研修会 —

7月2日(土) 午後3時より天草プラザホテルにて、天歯学術研修会が開催された。長崎大学大学院展開医療科学講座歯科補綴学分野の村田比呂司教授を講師にお招きし、「軟質リライン材の臨床について」と題してご講演いただいた。多岐にわたる総合的な視点から、義歯の話が聞けるとの期待から、歯科医師・歯科技工士合わせて計50名を超える参加者があった。

山本会長の挨拶のあと、早速講演開始となった。まず初めに、軟質リライン材が保険に導入されるまでの流れを説明された。これまでは直接法による硬質リライン材のみが保険適用であり、軟質リライン材は適用外であった。しかし、生活の質に配慮した歯科医療を充実することが考慮され、適用される運びとなった。

ただし、下記の条件を満たす場合に限る。

- ①下顎総義歯で高度な顎堤吸収があり、床下粘膜が非薄な場合
- ②義歯内面適合法は間接法で、シリコン系軟質 リライン材を用いた場合(直接法は不可)

なお、軟質材料を用いる場合の算定にあたっては、顎堤吸収の状態、顎堤粘膜の状態、使用 した材料名を診療録に記載することが義務付け られる。

下顎総義歯で通法通り作成された義歯と、軟質リライン材を使用した義歯との患者満足度調査において、咀嚼、会話、清掃、安定、維持、快適の全ての項目において、軟質リライン材を使用した義歯が通法通り作成された義歯より優位であった。このことからも軟質リライン材を



50名を超える参加者

使用した義歯を装着することで、生活の質が向上することが推察された。軟質リライン材は非常に良い材料ではあるが、劣化することを患者には説明しておく必要がある。個人差はあるが約2年で修理及び張り替えが必要である。

義歯の清掃を怠るとカンジダ菌が繁殖し誤嚥性肺炎になりやすい。ホームケアでは酵素入りポリデントやタフデント、フィジオクリーンキラリなどが推奨。義歯安定剤を使用する場合はクリームタイプや粉末タイプのものが良い。クッションタイプのものは咬合高径が変化するのであまり推奨できないとのことだった。

3 時間に亘る講演であったが、実に短く感じられた。最後は活発な質疑応答が行われ、このテーマへの関心の高さが推察された。

(壽永 旭博)

熊本市歯科医師会

根管治療における難治症例とその対応

第1回学術講演会

7月2日(土) 午後3時より、県歯会館にて第 1回学術講演会が開催され、参加者は48名だった。 宮本会長の挨拶後、中川寛一講師の講演が行

前半では、エンドーペリオ病変の治療に対して、必要な事項と手順として、歯髄の生死、エンドファーストの治療順序、歯周ポケット環境、動揺度継時的な測定、マイクロスコープの活用、樋状根の形態、などを説明された。またニッケルチタンファイルの中で現在使用しているものの特徴と利点、外傷歯における水酸化カルシウム製剤の選択などを解説して頂いた。

また後半では、オーバープレパレーションケースにおける水酸化カルシウムとMTAセメントの効果、難治性症例における軟化象牙質の確実な除去、確実な仮封、隔壁の使用、次亜塩素酸ナトリウム、EDTA製剤の根管清掃について述べられた。

さらに、確実な処置にも関わらず治療が奏功 しない場合に、根尖のバイオフィルム感染症に ついての説明をしていただいた。



難治性症例の盲点や勘所をわかりやすく説明

講演では日常の臨床において遭遇する難治性の根尖性歯周炎の盲点や勘所をわかりやすく説明していただき、参加者一同知識の研鑽になったと感じられた。

講演は約2時間半にわたり行われ、最後に学 術担当の大塚理事より感謝状の贈呈を行い、講 演会を終了した。

(久木田 大)











自 平成28年5月23日 至 平成28年6月2日 会務報告



所管	日付	摘要	出席者
	5 月23日	熊本地震における福島県歯会との打合せ	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理 事、八木・牛島常務理事
	24日	歯科往診車引取対応 (嘉島町)	小島副会長、八木常務理事
	25日	第13回理事会 【承認事項】 (1) 新入会員の承認 (2) 関係機関・団体からの役員等の推薦依頼・団体からの役員等の推薦依頼 【議 題】 (1) 平成27年度(有)ケイ・デー・エム・ユー事業報告及び決算 (2) 定時代議員会の報告・連絡・議事・協議事項(3)定時代議員会会務報告 ほか 第10回地震災害対策本部会議 (1) 5月28日(土)・29日(日)の支援活動(2)支援物資の取り扱い	浦田会長他牛島常務理事を除く全役 員、伊藤学院長 浦田会長他牛島常務理事を除く全役 員、伊藤学院長
		(3)被災会員の救済	
	26日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会(熊本市国際交流会館)	中嶋副会長
		熊本民事調停協会定期総会(KKRホテル熊本)	前野会員
		第122回都道府県会長会議(日歯会館)	浦田会長
総務	27日	平成28年度地域医療介護総合確保基金に係る厚生省ヒアリング(厚生労働省)	宮坂副会長
		第1回社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会(県福祉総合相談所)	小島副会長
		避難所支援活動に関する熊本県との打合せ	牛島常務理事、宇治理事
	28日	月次監査 (1)平成27年度決算、4月末会計現況監査	久々山・西野監事
		日歯予算決算特別委員会正副委員長打合せ (日歯会館)	浦田会長
	31日	日歯予算決算特別委員会(日歯会館)	浦田会長
	011	会計打合せ (1) 平成27年度決算	八木常務理事
	6月1日	アサヒプリテック部長との面談	浦田会長
	2 日	第22回常務理事会 (1) 熊本地震による会員の会費・共済互助負担金の免除 (2) 平成27年度一般社団法人熊本県歯科医師会会計決算(案) (3) 熊本地震による災害休業給付金支給に係る調査 ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
		第11回地震災害対策本部会議 (1)復旧事業補助金(2)避難所に対する支援活動	浦田会長他常務理事以上全役員
学 術	5 月25日	第1回日歯学術委員会(日歯会館)	牛島常務理事
社会保険	5 月27日	社会保険委員会 (1)会員向け発行物(2)指導立会者、個別相談対応 (3)近県社会保険担当者会 ほか	中嶋副会長、田中・椿理事、清水委 員長他全委員
広 報	5 月26日	NHKテレメッセ打合せ (1) 6 月20日放送分収録内容	竹下理事
	5月23日	熊本市教育委員会訪問(熊本市役所)	大林理事
2445.4E30	00 17	県公立学校新規採用養護教諭研修 (県立教育センター)	河原委員長
学校歯科	26日	県学校保健会第1回総務委員会	浦田会長
	6月2日	県学校保健会第1回理事会	浦田会長、宮坂副会長
医療対策	6月1日	医療対策小委員会 (1) 研修会打合せ (2) 紛争事例の検討	富屋理事、永松副委員長
Er. F.	5 月23日	日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会準備委員会	牛島常務理事、宮井・竹下理事、池 嶋委員長
厚生·医療 管理	31日	厚生・医療管理委員会 (1)震災後の対応(2)就業規則の見直し (3)日本歯科医療管理学会九州支部総会・学会	牛島常務理事、宮井理事他5委員



会員専用グループ保険のご案内

随時加入 募集中

グループ保険 🛘 団体定期保険 🔳 新医療保障保険団体型

Ⅱ 団体定期保険

充実した保障内容 合理的な 死亡保障 の確保に!

- ① 割安な保険料で高額保障 災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます
- ② 最高75歳まで継続更新可能
- ③ 障害給付金・高度障害保険金も準備されます

最高3000万円の保障(無診査)が 70才まで新設されました

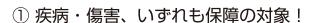
保険金額の増減は毎年自由に 変更できます

○ 35年以上の長期にわたり、熊本県 歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅲ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が 低価格でプラスできます!

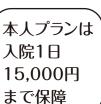


② 入院給付金は1日目からお支払します

③1入院60日限度 通算1,000日分まで保障

- ④ 最高89歳まで継続更新可能
- ⑤ 配偶者・お子様もご加入可能







この保険は当グループ内で1年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局 担当: 奥村 TELO96-343-8020

東京デンタルスクール

定期試験、CBT、歯科医師国家試験対策の個別指導

秋葉原教室での授業と全国対応の家庭教師の授業が選択できるマンツーマンの個別指導

お申込みはこちらから **へ** 03-6802-5260

東京デンタルスクールの特長

大学1年生〜6年生の 現役生から受講できる 定期試験、進級、CBT、 歯科医師国家試験対策の 個別指導

マンツーマンの個別指導

平日·土日·祝日 365日 受講可能

マンツーマンカリキュラムなので一人一人に合わせた対応が可能です。

受講例:歯科医師国家試験に向けた対策(5年次1月入塾)

- 1月:解剖学(頭頚部の動脈・神経について)、組織学(歯の組織、全身の組織)
- 2月:進級試験対策(全科目)
- 3月:生理学(ホルモン、呼吸、神経反射について)、
- 生化学(コラーゲンなどの生成、細胞内呼吸)
- 4月: 病理学、口腔外科学(病理組織像・病理の基礎を中心に口腔外科の範囲に応用)
- 5月: 薬理学、歯科麻酔学(薬物動態、副作用、全身麻酔の流れ、歯科の偶発症)
- 6月:理工学、保存修復学(材料学、窩洞形成、修復法)
- 7月:模擬試験受験(第1回)、クラウンブリッジ学(支台歯形成、ポンティックなど)
- 8月:総義歯学、部分床義歯学(作成の流れ、咬合採得など) 歯内療法学(各種処置法、歯髄炎と根尖性歯周炎の違い)
- 9月:模擬試験受験(第2回)、歯周病学(歯周治療の流れ、 歯周基本処置、歯周外科処置)、衛生学(各種法規など)
- 10月:歯科放射線学(放射線物理、放射線治療による影響)、 小児歯科学(成長発達)
- 11月:模擬試験受験(第3回)、苦手分野の総復習
- 12月: 国家試験の過去問解説、衛生学(暗記事項総復習)、卒業試験対策
- 翌年1月:卒業試験対策、国家試験の過去問解説

»受講して頂いた学生の所属大学(現役·浪人含む)

- ●東京医科歯科大学 ●新潟大学歯学部 ●明海大学歯学部 ●日本大学歯学部 ●日本大学松戸歯学部(塾長の母校) ●東京歯科大学
- ●日本歯科大学生命歯学部 ●昭和大学歯学部 ●神奈川歯科大学 ●鶴見大学歯学部 ●日本歯科大学新潟生命歯学部 等

● 塾長プロフィール

平成21年 日本大学松戸歯学部卒業 歯科医師 学部長賞 受賞 東京デンタルスクール ホームページ

http://www.dentist-school.com/

塾長のブログ

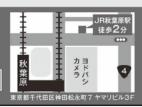
http://medicotraveling.blogspot.jp/



тыдации 56 № С 03-6802-5260



授業料 | 週1回・月4回(2時間)/238,400円 塾長の講義や遠方などご相談ください



健||

TEL/096-343-8020 FAX/096-343-0623

〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号





September

7日(水)	第28回常務理事会
17日(土)	全国共通がん医科歯科連携講習会
21日(水)	第29回常務理事会
24日(土)	第1回各郡市会長・専務理事連絡会議
28日(水)	第17回理事会







熊本県歯科医師会 安心·安全歯科医療推進制度



ゴトッ、ドーンと突き上げるような揺れを感じると、反射的に「おっ、きたか」と身をすくませてしまう。瓦が落ちた熊本城の屋根からは夏草が生えてきているという。熊本地震から4ヶ月になろうとしている。余震は随分減ったが1900回超。昨年の全国の地震回数を熊本だけで、しかもわずか3ヶ月で超えてしまった。心体に刻まれた恐怖心は、簡単に癒えることはないだろう。

地震後、追い打ちをかけるような集中豪雨。益城に住む身内は、道路が冠水する中、グランメッセへ避難した。学校が始まる ゴールデンウィーク明けまで、昼間避難所の手伝い等で、ひょうきんに笑顔で過ごしていた小中学の子供達は、日が暮れ夜にな ると、自宅で寝るのを怖がり避難所に行こうと大泣きして訴えていた。やっと、日常を取り戻そうとしている中での浸水が、再び 恐怖心をよみがえらせてしまったようだ。

治療に来る子供たちも、ユニットには1人で座りやんちゃぶり健在!と思ったが、家では1人になるのを怖がり、やや情緒不安定を感じている保護者の方が多いようだ。一生懸命の笑顔と思うと、心が痛む。子供たちに本当の笑顔が戻ること、祈るばかりだ。地震大国日本に誕生した生命として、豊かな日常を当たり前に過ごしていた人間として、今回の震災で防災や電気、水の大切さを改めて痛感させられた。また、県内外から多くの支援チームが派遣され、支援活動にご尽力いただいた。県内チームは、医療・行政等自らが被災者であるにもかかわらず、出務されていたと思う。本当に頭が下がる思いで「感謝」の一言につきる。

梅雨明けが発表され、また猛暑になりそうな夏。震災後の疲労に、酷暑。くれぐれもお身体ご自愛されながら、熊本を、歯科界を、皆で盛り上げていきましょう!

くまもとけん、がんばるけん、歯医者もがんばるばい!

(T.M)